

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2025年4月1日

事業所名 クラブ日吉校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		定員や子どもの支援ニーズに合わせてスペースを活用している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		日々、子どもの人数や状況に合わせて職員を配置し、想定外の出来事にも対応できるようにしている。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		生活する部屋ごとにどのような活動を行う場所なのか、子どもにわかるように整備を整えている。	危険が伴う場所が見られる。特に階段は急であるのに対し手すりがない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		週2回の清掃に取り組んでおり、子どもたちの活動に合わせた準備をしている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		子どもの特性や要望に応じて部屋を使い分けるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		事業所職員での打ち合わせを行い、課題や改善点を共有し業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的にアンケート調査を行い、いただいた意見をもとに対応するように努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		打ち合わせ等を行う際に意見交換を行い、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		行政職員による指定障害福祉サービス事業者等に対する運営指導の助言を通して適時業務改善を行なっている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		月に一度の社内研修やスキルに応じた外部研修に参加している。	
保護者への説明等	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		日々の支援をプログラム化し、公開している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者との面談を行い、子どもの課題を確認しながら計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		計画を作成する際に職員間で話し合いを行い、子どもへの利益を検討し作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		作成した計画は都度、職員間で共有している。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		WISK検査を通して、子どもの特性を客観的に評価している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		放課後等デイサービスのガイドラインに基づいて地域移行の基礎となる「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」5領域支援項目を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員間で話し合い、子どもに合った活動プログラムを準備するように努めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		子どもの課題や状況に応じた活動プログラムへと適宜組み替えている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		学習等での個人支援と外出活動等での集団活動を組み合わせ、必要に応じた支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		始業時に打ち合わせを行いその日の予定や活動内容等の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		翌日の始業時の打ち合わせにて振り返りを行っている。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	自社サービスを用いて支援の記録を作成し、随時確認できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	年に2度の面談を行い、必要に応じて計画の変更を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○	主に学習の支援を行っており、余暇時間を設け、創作活動や外出活動等での支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	学習支援の際に指導員からの課題のほか、自己選択による課題を実施している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児童発達支援管理者を中心に教育機関との連携を図りながら担当者会議に参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	主に学校との連携を強化しており、必要に応じて関係者での会議を実施している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	毎週、学校との情報共有を行っており、共通の認識を持つようになっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談員を通して、これまでの様子を教えてもらうようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	本人と家族の同意のもと支援記録や個別支援計画の整理と提供を計画している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	児童発達支援センターや行政が主催する研修に参加し、学んだことを日々の支援に還元している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	○		他事業所との交流はあるものの、その他の子どもとの交流の機会はない。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	定期的開催される話し合いの場に積極的に参加し、行政や他の義行書の職員と協議している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日々の送迎の際に情報の共有を行い、子どもについての共通理解を持つようになっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族のニーズに基づいて、ペアレント・トレーニングの計画や支援プログラムの情報提供を進めていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約や面談の際に不明な点がないように確認しながら説明するように努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	主に面談の際にご家族の意向などを確認し、必要性を感じた際には、都度確認をとるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	面談の際に計画を提示しながら説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	相談等がある際には速やかに職員間での共有を行い、必要な対応をとるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	定期的に行われているイベントにおいてきょうだいや保護者が参加できるようにしている。	利用者の家族が参加できるイベントは年に1回ほどと少なめである。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	問題解決へ向けて迅速に対応し解決するように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	主に公式LINEを使用した連絡体制を整えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	鍵付きのキャビネットに保管している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	意思表示のカードの作成をし、意思疎通の配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民と交流する機会を設けていない。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		ホームページ上に公開している。	保護者への周知ができていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に避難訓練や、話し合いを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		てんかんのあるごどものご家族から、服薬内容や発作の引き金となりやすい状況、発作時に求められる対応について、事前に詳しい情報提供を受け、適切な支援に活かしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			現在対象児童がない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		年に1度、大雨を想定した避難訓練を実施し、行政指導のもと安全計画書を作成している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		利用開始契約時に安全計画の情報を提供し、各家庭の緊急連絡先を把握している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		適宜、事例に基づき話し合いを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		市の研修に参加するなど、防止するための対応を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			現在対象児童がないが、必要となる際に事前に対応する。	